

## 2024年度 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学類等	科目名	担当教員	単位数	教員の実務経験の有無
基盤教育	健康運動科学実習	佐藤 浩明(非)	1	久光製薬スプリングス女子プロバレーボールチーム、オランダナショナル女子バレーボールチームの監督、コーチ実務経験を活かしコミュニケーションや協調性を指導します。
基盤教育	精神疾患とその治療	片山 規央	2	本科目の担当教員は、精神科専門医・指導医として児童・思春期～成人～老年期に至るまでの幅広い精神疾患の診療に長年数多くあたってきた。講義では教科書的な知識のみならず、臨床場面での経験談も交えて、疾患や治療について、より理解が深まるよう努めている。
基盤教育	食品の機能	熊谷 武久	2	前職の食品会社研究・管理職としての経験を活かし、基礎と応用を意識した講義をします。
基盤教育	知的財産の基礎知識	横島 善子	2	特許庁で特許審査官として特許審査の実務を担当したほか、弁理士として他大学で特許関連実務を担当後、本学で現在、知的財産全般に関する実務を担当している。また、民間企業で研究職として技術開発（及び自己が成した発明の特許取得等）に携わった実務経験もあり、これらの実務経験を生かして、事例に基づいてわかりやすい特許・著作・商標等知的財産全般の授業を行う。
基盤教育	データサイエンス実践演習	加藤 穂高	2	担当教員は民間シンクタンクでコンサルタントとして、社会福祉・まちづくりなどの案件に従事してきた。本授業では、その経験を生かし、指導を行う。
基盤教育	中国語基礎Ⅰ	金 敬雄	1	日中両言語の通訳、翻訳の経験がある。中国語の読解、中日対訳、コミュニケーション要領などに生かしていきたい。
基盤教育	ふくしま未来学入門Ⅰ	前川 直哉	2	担当教員は、行政や住民・地元企業・NPO等との協働により、地域における各種の活動を実務経験として有しており、その経験を各テーマの授業内容に反映させている。
基盤教育	人・食・環境・生物の共生関係	原田 茂樹	2	国立環境研究所および中山間地研究センターでの実務経験がある。
人間発達文化学類	家庭科学習指導論	栢田 祐子(非)	2	中学校技術・家庭科教諭、小中学校校長、幼稚園長、県教委・市教委指導主事の経験を有す。
人間発達文化学類	子どもの生活と遊び	宗形 潤子	2	実務経験：小学校教員18年（低学年担任6年）指導主事2年を生かし、学校現場の実態や現状について伝え、より実践的な学びとなるよう支援する。
人間発達文化学類	子どもの造形活動	渡部 憲生	2	小学校教員としての実務経験を生かし、学校現場の現状や児童の実態等を踏まえた指導方法の工夫改善の視点、授業で扱う材料・用具の扱い方の要諦等について具体的に指導する。
人間発達文化学類	社会科教育法Ⅰ	渡邊 健順	2	中学校教諭、教員研修機関での実務経験及び中学校での学校経営の経験を生かし、指導技術や教材開発について具体的に指導する。
人間発達文化学類	教育相談	岸 竜馬	2	スクールカウンセラー、公認心理師・臨床心理士としての実務経験を授業内容に反映させる。
人間発達文化学類	教職概論	高野 孝男	2	担当は、小学校、教育行政の経験があることから、「学校・授業・子ども・教師」のキーワードを切り口として、より実践的指導力を高める授業を行う。
行政政策学類	社会福祉論（行政）	松本 喜一(非)	2	精神科病院や介護保険施設でのソーシャルワーク、障がい者や高齢者虐待対応、成年後見制度、法テラス活動などを授業で報告します。また「福島県社会福祉士会」の活動内容についても報告します。
行政政策学類	考古学Ⅰ	菊地 芳朗	2	北海道を含む東日本の古墳文化関連遺跡の発掘調査経験を有する教員が、自らの調査研究成果にもとづき講義を行う。
行政政策学類	博物館情報・メディア論	清水 裕介(非)	2	有（公益財団法人多摩市文化振興財団バルテノン多摩歴史ミュージアム学芸員、公益財団法人渋沢栄一記念財団渋沢史料館学芸員ほか）
経済経営学類	マクロ経済学Ⅰ	石川 大輔	2	国際通貨基金（IMF）と財務省での実務経験に基づいて、授業ではマクロ経済学が現実の経済政策と密接につながっていることを伝えていきたいと考えています。
経済経営学類	地域と経済	吉田 樹	2	国や地方公共団体の交通、観光分野の各種委員会委員への参画、公共交通事業者や観光、商工関連団体とのプロジェクトにも数多く取り組んできた経験を本講義で紹介する具体事例に活用する。
経済経営学類	経営情報分析	根建 晶寛	2	前職の金融機関における業務経験及び過去に在籍していた非常勤先の会計専門職大学院での論文指導講座の経験をふまえて経営情報分析の講義を担当します。
経済経営学類	原価計算Ⅰ	高橋 宏和	2	公認会計士・税理士として複数の企業の会計監査・税務申告を行っており、企業に対して日常的に原価計算のレクチャー・アドバイスをを行っている。
共生システム理工学類	生産管理概論	笥 宗徳	2	製造業等の技術指導、人材教育を行っており、授業に一部取り入れている。
共生システム理工学類	経営情報システム	董 彦文	2	多数の企業において情報システムの開発に携わってきたので、実用上の有用性も重視し、授業を進める。
共生システム理工学類	化学工学	佐藤 理夫	2	企業の研究開発部門および経営部門に従事した経験を活かし、講義を組み立てます。
共生システム理工学類	地下水盆管理学	柴崎 直明	2	福島大学赴任前に民間コンサルタント会社で経験した地下水業務（国内、海外）の経験を活かして、実際の地下水調査や地下水盆管理の方法を授業で紹介する。
食農学類	農業生産学概論	篠田 徹郎	2	農水省野菜試験場、農研機構生物機能利用研究部門等において、野菜害虫等の生理・生態・防除に関して長年の研究経験があります。
食農学類	栽培学汎論	渡邊 芳倫	2	・JABEE（日本技術者教育認定機構）における各種委員とプログラム審査 ・農学教育推進委員会における各種委員
食農学類	協同組合学	小山 良太	2	株式会社マルシェF代表取締役社長を兼務し、福島県産農産物の6次産業化促進と新規市場開拓、マーケティングを実施。
食農学類	農業簿記論	吉田 利彦(非)	2	2全講師が税理士で実務の経験を有している。
食農学類	フードコーディネータ論	旗野 梨恵子(非)	2	栄養教諭としての勤務経験があり、その食育授業や講演の経験も踏まえた講義を行う。